5年連続・県下でトップ
製造品出荷額等は8,886億円
52年工業統計調査結果まとまる

昭和52年12月31日現在で実施した「工業統計調査」の静岡県の概要が6月に発表され、市のあらましについても、このほどまとまりましたので、この結果をお知らせします。

事業所数の第1位はパルプ、紙、紙加工品

まず産業別事業所数は1,307事業所で、県下沼津市に次いで第5位でありますが、51年より21事業所(1.6パーセント)減っています。これを産業別にみますと、第1位がパルプ、紙、紙加工品で338事業所(構成比25.9パーセント)第2位が一般機械器具で223事業所(同17.1パーセント)第3位が金属製品で137事業所(同10.5パーセント)以下食料品127事業所(同9.7パーセント)輸送用機械器具82事業所(同6.3パーセント)の順となっています。

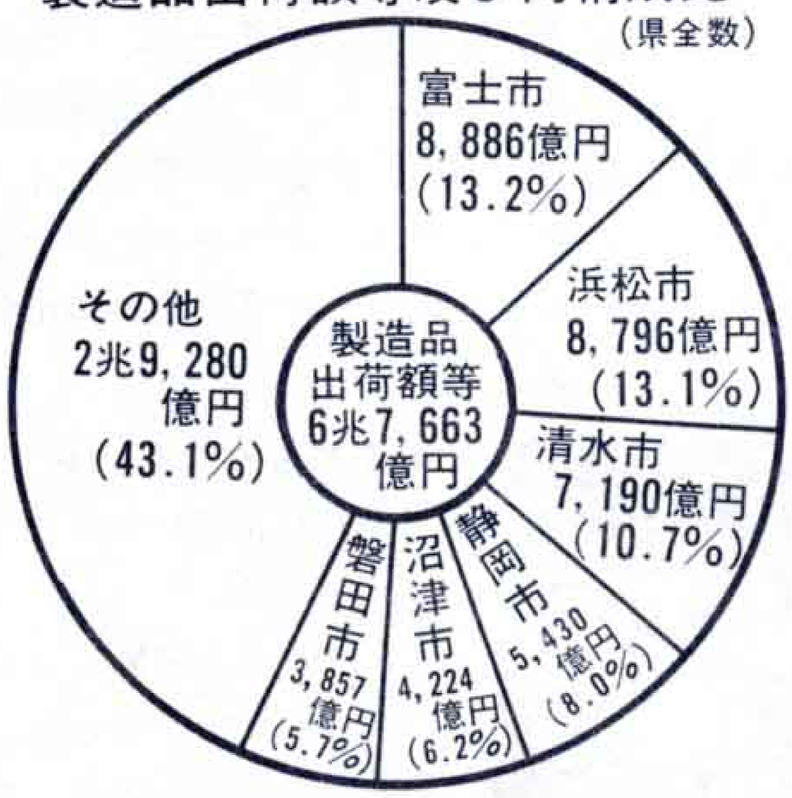
従業者数は4万5,443人

つぎに従業者数では、4万5,443人で県下浜松市についで第2位でありますが、前年より494人減っています。これを産業別にみますと、パルプ、紙、紙加工品1万6,509人(構成比36.3パーセント)次が輸送用機械器具9,390人(同20.7パーセント)化学工業4,514人(同9.9パーセント)電気機械器具4,328人(同9.5パーセント)一般機械器具3,407人(同7.5パーセント)の順となっています。

また、**製造品出荷額等**では、富士市は8,886億6,277万円で前年より7.9パーセントの増加となっています。これを県下都市の順位別にみてみると、第1位は、富士市(構成比13.2パーセント)第2位浜松市(同13.1パーセント)第3位清水市(同10.7パーセント)第4位静岡市(同8.0パーセント)第5位沼津市(同6.2パーセント)の順となっております。富士市は第2位の浜松市に徐々に追い上げられてきましたので、53年はトップの座に赤信号がついたというとこであります。

このうち地場産業のパルプ紙、紙加工品について約3,664億円の実績を収めましたので前年対比約296億円の増となり、8.8パーセントの増加率を示しており、構成比においても41.2パーセントを占め前年40.9パーセントとほぼ同様な産業別構成割合を示し、市の地場産業として特徴づけております。

製造品出荷額等及び同構成比



富士市の産業別事業所数

産業別＼区分＼年次	51年 事業所数	52年 事業所数	52年 前年対比
総数	1,328	1,307	98.4 %
食料品	124	127	102.4
繊維工業	37	35	94.6
衣服	12	10	83.3
木材・木製品	75	69	92.0
家具・装備品	27	29	107.4
パルプ・紙	344	338	98.3
出版・印刷	42	43	102.4
化学工業	20	19	95.0
石油・石炭	5	5	100.0
ゴム製品	1	2	200.0
窯業・土石	24	21	87.5
鉄鋼業	25	32	128.0
非鉄金属	27	23	85.2
金属製品	132	137	103.8
一般機械	238	223	93.7
電気機械	50	51	102.0
輸送用機械	81	82	101.2
精密機械	5	5	100.0
その他	59	56	94.9

富士市の産業別製造品出荷額等

産業別＼区分	製造品出荷額等(万円) 51年	52年	前年対比
総数	82,352,114	88,866,277	107.9 %
食料品	3,108,261	3,372,174	108.5
繊維工業	287,468	266,975	92.9
衣服	x	x	x
木材・木製品	516,114	446,274	86.5
家具・装備品	53,326	76,431	143.3
パルプ・紙	33,678,925	36,644,441	108.8
出版・印刷	445,334	486,713	109.3
化学工業	10,676,751	11,935,060	111.8
石油・石炭	x	x	x
ゴム製品	x	x	x
窯業・土石	431,558	527,710	122.3
鉄鋼業	1,169,108	1,519,351	130.0
非鉄金属	82,516	71,831	87.1
金属製品	1,906,478	2,103,807	110.4
一般機械	10,060,583	3,053,957	30.4
電気機械	999,035	8,556,963	856.5
輸送用機械	17,830,137	18,658,543	104.6
精密機械	x	x	x
その他	887,497	903,091	101.8